

事業改善会議用シート

対象事業	老人医療費助成事業	委員	
事業が抱えている課題	<p>① 国や道の制度を拡充した市単独の医療費助成制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年3月末で道は老人医療費給付事業を廃止したこと。 (現在、道内では5市町村が医療費助成制度を継続) <p>② 平成20年度以降は償還払い方式へ変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成には市役所窓口での申請が必要なため申請しない場合は助成を受けられないこと。 <p>③ 高齢化と助成額の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化によって助成額の総額は増加傾向にあること。 		
仕分け区分 (方向性を○囲み)	委員の具体的なご意見等		
① 廃止	<p>1. 5人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・68・69歳は廃止 ・外来は廃止してもよい ・北斗市の現状を考えると、維持は不可能と考える 		
② 現行維持			
③ 制度の抜本的な見直し			
④ 改善	<p>6. 5人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院費を一日300円から330円に (消費税10%アップに対応するため) ・68・69歳の1割助成見直し ・現在の制度を継続しながら、一部負担金の見直し ・年齢を引き上げを検討する ・所得によって対象者を制限する ・段階的に廃止に向かうこともやむを得ない ・2割助成の軽減特例措置を廃止したほうがよい ・かかった医療費の限度額を決め、超える金額を助成する ・削減目標を設定し、助成金額、対象年齢の設定をする ・市民へ理解を求めるための説明が不可欠 		